

■ 掲示板

□ 国内外の関連会議情報

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止や延期が相次いでいます。
ご参加を予定している場合は、主催元のホームページ等で最新の情報をお確かめ下さい。

開催期間	行 事 名	開催場所	関連ウェブページ
2022 年 2/3	公開シンポジウム「将来のエネルギー科学技術に向けたパワーレーザーと高エネルギー密度科学の役割と展望」	日本学会会議講堂 + オンライン	https://www.opt-seminar.jp/powerlaser/
2/7-3/15	第1回オンライン真空応用技術講座	オンライン開催	https://www.jvss.jp/jpn/activities/16/detail.php?eid=00012
2/21-27	ISBA21—the 4th International school on Beam Dynamics and Accelerator Technology (ビーム力学と加速器技術の国際スクール)	オンライン開催	https://conference-indico.kek.jp/event/158/
3/7-9	2021 年度量子ビームサイエンスフェスタ	オンライン開催	https://mlfinfo.jp/sp/qbs-festa/2021/
3/20-25	FLS2022—The 65th ICFA Advanced Beam Dynamics Workshop on Future Light Sources	Lucerne, Switzerland	https://indico.jacow.org/event/35/
3/28-4/1	SRI2021—International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation	Hamburg, Germany	https://www.sri2021.eu/
4/25-29	IVEC2022—The 23rd International Vacuum Electronics Conference	Monterey, CA, United States	https://ieeivec.org/
6/12-17	IPAC22—The 13th International Particle Accelerator Conference 2022	Bangkok, Thailand	http://www.ipac22.org/
8/28-9/2	LINAC2022—31st International Linear Accelerator Conference 2022	Liverpool, UK	https://linac2022.org/
2023 年 5/7-12	IPAC23—The 14th International Particle Accelerator Conference 2023	Venice Lido, Italia	https://www.ipac23.org/
6/25-30	ISDEIV2023—30th International Symposium on Discharge and Electrical Insulation in Vacuum	沖縄県市町村自治会館 (沖縄県那覇市)	http://isdeiv2023.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html

■会告

■第10期会長・評議員のお知らせ

先日は第10期会長・評議員選挙へのご協力有難うございました。開票の結果、下記の会員に決定しましたのでお知らせいたします。

○会長

栗木 雅夫 広島大学

○評議員（企業枠）50 音順

佐藤 潔和 東芝エネルギーシステムズ
仙波 智行 日立製作所
徳地 明 パルスパワー技術研究所
宮本 篤 東芝エネルギーシステムズ
湯城 磨 スカンジノバ・システムズ

○評議員（一般枠）50 音順

岩下 芳久 京都大学
恵郷 博文 高エネルギー加速器研究機構
大谷 将士 高エネルギー加速器研究機構
帯名 崇 高エネルギー加速器研究機構
柏木 茂 東北大学
加藤 政博 広島大学
加藤 龍好 高エネルギー加速器研究機構
小磯 晴代 高エネルギー加速器研究機構
小関 忠 高エネルギー加速器研究機構
小林 幸則 高エネルギー加速器研究機構
坂上 和之 東京大学
全 炳俊 京都大学

田村 文彦 日本原子力研究開発機構
飛山 真理 高エネルギー加速器研究機構
羽島 良一 量子科学技術研究開発機構
長谷川 和男 量子科学技術研究開発機構
浜 広幸 東北大学
早野 仁司 高エネルギー加速器研究機構
古川 和朗 高エネルギー加速器研究機構
本田 洋介 高エネルギー加速器研究機構
増澤 美佳 高エネルギー加速器研究機構
三浦 孝子 高エネルギー加速器研究機構
道園 真一郎 高エネルギー加速器研究機構
山口 誠哉 高エネルギー加速器研究機構
鷲尾 方一 早稲田大学

■会員移動（2021年9月～2021年12月）

〔個人会員入会〕

池田 俊輔 BNL
馬場 豊美 青森県量子科学センター
吉田 昌弘 金属技研(株)
雷 臻哲 大阪大学

〔個人会員退会〕

6名

■訃報

以下の会員が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

吉川 博（量子科学技術研究開発機構）

■編集後記

研究で議論することはとても大切で、そのため研究会や学会が行われている。しかし、全く新しい研究上のアイデアなどは、多くの場合、休み時間や、懇親会などでの議論から出てくる。オンライン会合が2年近くも続くと、その重要性を痛感する次第である。そのためか、最近ではオンライン会合においても、雑談ルームを設けるなど工夫がなされているが、メディア特性のせいか、今一つ利用は低調のようだ。一方で、オンライン接続の

利点というのもある。先日のビーム物理研究会では米国と中国からゲストスピーカーによる講演があった。時差という問題はあるが、地理的な制限を超えて参加可能なのはオンライン会合の利点だろう。

地方大学は、就職に不利、とされてきたが、就職活動もオンライン化されることで、中央と地方の格差の縮小にはつながりそうだ。研究活動も同様で、従来は地方から学会や研究会へ参加すると

なると、学生の旅費というのは頭の痛い問題であったが、最近はその気にする必要がない。しかし本来なら休み時間に他の大学の同級生と研究や将来のことについて雑談をするのだが、それができないのは痛手だろう。このままの状態が続くと研究の面白さに目覚めて研究者を目指す学生が減りそうだ。

こう見ると、会合のオンライン化は中央と地方の格差を縮小し、フラット化する一方、全体のコミュニケーションの質を低下させるようだ。将来的に技術によりこの問題が解決されるのかもしれ

ないが、実は技術はすでにそこにあり、我々の行動がそれをさせていないのかもしれない。オンライン会合を行う場合、まずアジェンダを設定するが、そこからして休み時間になっていない。アジェンダのないオンライン会合をたまに行う、というのがいいのではないだろうか。そんな余裕はない、と言われそうだが、余裕のない研究の将来は明るくない。

広島大学
栗木雅夫